

生後 1 か月の顔面浸出症状と入院治療後の全身症状を経て皮膚が整った乳児アトピーの経過 (3 か月 乳児)

症例 ID：001-00-TSu | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

生後 1 か月頃に額の湿疹が始まり、生後 40 日頃には頬が赤くなって黄色い浸出液と乾燥がみられました。外用治療を受けましたが、顔から頭部、背部、四肢、胸部へ症状が広がりました。

生後 2 か月半頃に入院し、1 日 2 回の入浴、消毒、全身へのステロイド外用、点滴治療を受けました。入院中は一時的に皮膚が整いましたが、点滴終了後に顔面症状が再燃しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	クリーム状のステロイド外用薬と、入院中に全身へのステロイド外用を受けました。
製品名	リンデロン V、その他の製品名は不明です。
強度	リンデロン V はストロングクラスです。その他は不明です。
使用期間	生後 2 か月頃まで断続的に使用し、入院中は全身に使用しました。
中止時期	入院を中断して退院した時点で中止しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後 1 か月	発症	額の湿疹が始まりました。
生後 40 日頃	顔面悪化	頬が真っ赤になり、黄色い浸出液と乾燥がみられました。
生後 2 か月半	入院治療	全身へのステロイド外用と点滴治療を受け、一時的に皮膚が整いました。
退院直後	治療開始	退院後に松本医院を受診し、外用処置と漢方入浴を開始しました。
治療開始～約 2 か月半	強い症状	全身の発疹、顔面の腫れと浸出液、強いかゆみ、短い間隔での夜泣きが続きました。
治療約 3 か月	改善期	顔面の浸出と発疹がなくなり、全身の皮膚も滑らかになりました。
治療約 7 か月	経過後	外見上は治療前と比べて大きく改善しました。
その後	通院終了	皮膚症状と喘息症状が落ち着き、通院を終了しました。

4. ピーク時期

ピークは、全身が赤い発疹で覆われ、顔面が腫れて黄色い浸出液が出て、約 15 分ごとに掻いて目を覚ます状態が続いた時期です。

5. 困りごと

- 強いかゆみにより夜間の睡眠が細切れになりました。
- 頭部を掻き続けたため、脱毛部が生じました。
- 症状の変動が大きく、家族の精神的負担も強くなりました。

6. 経過のまとめ

治療開始後約2か月半は全身症状と夜泣きが続きましたが、約3か月頃から顔面・全身の皮膚が整い、約7か月後には外見上大きく改善しました。その後、皮膚症状と喘息症状が落ち着き、通院を終了しました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。